



平成31年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年10月11日

上場会社名 株式会社乃村工藝社 上場取引所 東
 コード番号 9716 URL <http://www.nomurakougei.co.jp/ir/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎本 修次
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役コーポレート本部長 (氏名) 中川 雅寛 (TEL) 03 (5962) 1119
 四半期報告書提出予定日 平成30年10月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第2四半期の連結業績（平成30年3月1日～平成30年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第2四半期	52,242	△1.3	3,470	2.0	3,587	1.4	2,767	3.1
30年2月期第2四半期	52,956	△1.6	3,400	0.4	3,537	1.9	2,684	19.7

(注) 包括利益 31年2月期第2四半期 2,635百万円 (△3.6%) 30年2月期第2四半期 2,734百万円 (29.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第2四半期	49.74	—
30年2月期第2四半期	48.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第2四半期	73,126	54.0	39,473	54.0	39,452	54.0
30年2月期	76,443	51.4	39,344	51.4	39,329	51.4

(参考) 自己資本 31年2月期第2四半期 39,452百万円 30年2月期 39,329百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	0.00	—	45.00	45.00
31年2月期	—	0.00	—	—	—
31年2月期（予想）	—	—	—	47.00	47.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年2月期の連結業績予想（平成30年3月1日～平成31年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	3.6	8,300	1.6	8,500	1.5	5,900	4.6	106.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年2月期2Q	59,948,294株	30年2月期	59,948,294株
② 期末自己株式数	31年2月期2Q	4,316,235株	30年2月期	4,316,211株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年2月期2Q	55,632,073株	30年2月期2Q	55,632,122株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11
3. 補足情報	12
(1) セグメント別(ディスプレイ事業は市場分野別)の生産高、受注および売上高の状況	12
(2) セグメント別(ディスプレイ事業は制作品別)の生産高、受注および売上高の状況	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率 (%)
売上高	52,956	52,242	△714	△1.3
営業利益	3,400	3,470	69	2.0
経常利益	3,537	3,587	49	1.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,684	2,767	82	3.1

当第2四半期連結累計期間(平成30年3月1日～平成30年8月31日)のわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、米国の通商政策により懸念される貿易摩擦の影響など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

乃村工藝社グループを取り巻く環境におきましては、企業収益の改善などを背景に設備投資はゆるやかに増加しており、引き続き堅調に推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、エンドユーザーの視点に立ってお客様の事業繁栄を実現する「プロスペリティ・パートナー」への進化の追求に向けて、中期経営計画に則り、時代の変化の中で生まれる新たなニーズをとらえたサービスの提供を目指すとともに、少子高齢化・人口減少の影響と消費者の変化を積極的契機ととらえ、インバウンド、地域創生等のテーマについて、顧客の開発と深耕、プロジェクト開発を推進してまいりました。

当第2四半期連結累計期間につきましては、ディスプレイ事業において商業施設分野(専門店市場、複合商業施設市場)の売上が減少したことなどにより、売上高は522億42百万円(前年同期比1.3%減)となりました。利益面におきましては、原価低減への取り組みにつとめたことなどにより、営業利益は34億70百万円(前年同期比2.0%増)、経常利益は35億87百万円(前年同期比1.4%増)となりました。

また、特別利益として、所有する不動産の売却にともなう固定資産売却益を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は27億67百万円(前年同期比3.1%増)となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

①ディスプレイ事業

好調な企業収益を背景に広報・販売促進市場が堅調に推移したほか、ホテルの内装等を多数手掛けた余暇施設市場、旺盛なオフィスの改装需要等を取り込んだその他市場が堅調に推移したものの、大型プロジェクトの引き渡し下期に控える専門店市場、複合商業施設市場が減少しました。

その結果、売上高は512億4百万円（前年同期比0.2%減）、営業利益は34億63百万円（前年同期比6.6%増）となりました。

（単位：百万円）

概 要		売 上 高		増減額	増減率 (%)
市場分野名	当期主要プロジェクト	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間		
専門店市場 (物販店、飲食店、サービス業態店等)	通信サービスやインポートブランド、アパレル関連の店舗内装制作等	19,876	16,002	△3,874	△19.5
百貨店・量販店市場	首都圏や関西圏における百貨店内の環境整備工事等	2,539	2,724	184	7.3
複合商業施設市場 (ショッピングセンター等)	首都圏や関西圏の複合商業施設における環境整備工事等	7,563	4,779	△2,784	△36.8
広報・販売促進市場 (企業PR施設、ショールーム、セールスプロモーション、CI等)	電機や飲料、住宅設備関連メーカーの展示会、ショールームの展示制作等	7,717	8,493	775	10.1
博物館・美術館市場 (博物館、文化施設、美術館等)	文化や歴史に関する施設の展示制作、指定管理者制度 ^(注) にもとづく施設の管理・運営等	3,943	4,189	246	6.2
余暇施設市場 (テーマパーク、ホテル・リゾート施設、アミューズメント施設、エンターテイメント施設、動物園、水族館等)	ホテルの内装や大型テーマパークの装飾等	4,071	5,050	978	24.0
博覧会・イベント市場 (博覧会、見本市、文化イベント等)	行政や公共機関等が主催するイベント等	272	324	52	19.1
その他市場 (上記以外の市場に係るもの) (オフィス、プライダル施設、サイン、モニュメント等)	オフィスや保育園、空港関連施設の内装制作等	5,344	9,640	4,296	80.4
ディスプレイ事業		51,329	51,204	△124	△0.2

(注) 指定管理者制度：地方公共団体やその外郭団体に限定していた公の施設の管理・運営を、法人その他の団体に包括的に代行させることができる制度。平成15年9月より施行されています。

②飲食・物販事業

美術館や科学館などのミュージアムショップや商業施設における飲食店・物販店の運營業務等を手掛けましたが、店舗閉鎖やイベントの減少などにより、売上高は10億37百万円（前年同期比36.2%減）、営業利益は38百万円（前年同期比79.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は731億26百万円(前連結会計年度末比33億17百万円減)、負債は336億52百万円(前連結会計年度末比34億47百万円減)、純資産は394億73百万円(前連結会計年度末比1億29百万円増)となりました。

総資産は、現金及び預金とたな卸資産が増加しましたが、受取手形及び売掛金が減少したことに加え、所有する不動産の売却等で有形固定資産が減少したことにより減少しております。

負債は、前受金が増加しましたが、支払手形及び買掛金が減少したことにより減少しております。

純資産は、配当金の支払いがありました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により増加しております。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の51.4%から54.0%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ28億37百万円増加し、285億78百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上と売上債権の回収等により37億20百万円の収入(前年同期は4億75百万円の支出)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、所有する不動産の売却等により16億79百万円の収入(前年同期は2億63百万円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払い等により25億24百万円の支出(前年同期は22億44百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年4月12日発表の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,741	28,578
受取手形及び売掛金	26,777	19,647
たな卸資産	6,359	8,651
繰延税金資産	1,206	1,221
その他	568	1,053
貸倒引当金	△19	△21
流動資産合計	60,635	59,132
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,597	6,266
土地	5,245	3,743
その他	2,321	2,284
減価償却累計額	△7,566	△4,324
有形固定資産合計	9,597	7,969
無形固定資産	1,035	923
投資その他の資産		
投資有価証券	3,884	3,752
その他	1,580	1,660
貸倒引当金	△288	△312
投資その他の資産合計	5,175	5,100
固定資産合計	15,808	13,994
資産合計	76,443	73,126

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,352	16,892
未払法人税等	1,179	1,426
前受金	3,168	5,955
賞与引当金	1,519	1,562
完成工事補償引当金	55	57
工事損失引当金	51	133
事業構造改善引当金	92	63
その他	3,773	1,574
流動負債合計	31,192	27,666
固定負債		
退職給付に係る負債	4,802	4,953
その他の引当金	154	177
その他	950	854
固定負債合計	5,907	5,985
負債合計	37,099	33,652
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,497	6,497
資本剰余金	6,861	6,861
利益剰余金	25,767	26,447
自己株式	△1,091	△1,091
株主資本合計	38,034	38,714
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,039	903
土地再評価差額金	415	—
為替換算調整勘定	156	116
退職給付に係る調整累計額	△316	△281
その他の包括利益累計額合計	1,294	738
非支配株主持分	14	21
純資産合計	39,344	39,473
負債純資産合計	76,443	73,126

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成29年3月1日 至平成29年8月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成30年3月1日 至平成30年8月31日）
売上高	52,956	52,242
売上原価	42,631	41,220
売上総利益	10,325	11,022
販売費及び一般管理費	6,924	7,552
営業利益	3,400	3,470
営業外収益		
受取利息	2	5
受取配当金	20	30
仕入割引	47	45
受取保険金	56	—
その他	18	36
営業外収益合計	145	118
営業外費用		
支払利息	2	0
為替差損	5	—
その他	0	0
営業外費用合計	8	1
経常利益	3,537	3,587
特別利益		
固定資産売却益	0	644
特別利益合計	0	644
特別損失		
固定資産除売却損	32	6
減損損失	—	39
投資有価証券評価損	2	—
ゴルフ会員権評価損	5	26
事業構造改善費用	437	—
特別損失合計	476	72
税金等調整前四半期純利益	3,061	4,159
法人税等	377	1,383
四半期純利益	2,684	2,775
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,684	2,767

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
四半期純利益	2,684	2,775
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	△135
為替換算調整勘定	△12	△40
退職給付に係る調整額	47	35
その他の包括利益合計	49	△140
四半期包括利益	2,734	2,635
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,734	2,626
非支配株主に係る四半期包括利益	—	8

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,061	4,159
減価償却費	478	414
賞与引当金の増減額(△は減少)	145	43
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	229	204
その他の引当金の増減額(△は減少)	120	75
受取利息及び受取配当金	△23	△36
支払利息	2	0
受取保険金	△56	—
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	△644
事業構造改善費用	437	—
売上債権の増減額(△は増加)	4,386	7,067
たな卸資産の増減額(△は増加)	△167	△2,308
前渡金の増減額(△は増加)	96	△383
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,455	△4,339
未払金の増減額(△は減少)	△2,187	△1,562
前受金の増減額(△は減少)	992	2,809
未払消費税等の増減額(△は減少)	△336	△429
その他	△100	△228
小計	1,622	4,842
利息及び配当金の受取額	23	36
利息の支払額	△2	△0
法人税等の支払額	△2,176	△1,158
保険金の受取額	56	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△475	3,720
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△171	△459
有形固定資産の売却による収入	3	2,372
無形固定資産の取得による支出	△67	△89
投資有価証券の取得による支出	△109	△75
投資有価証券の売却及び償還による収入	200	15
その他	△118	△83
投資活動によるキャッシュ・フロー	△263	1,679
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△2,217	△2,490
非支配株主への配当金の支払額	—	△2
その他	△27	△32
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,244	△2,524
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	△37
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,989	2,837
現金及び現金同等物の期首残高	26,858	25,741
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,869	28,578

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書計上額 (注)2
	ディスプレイ 事業	飲食・物販 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	51,329	1,627	52,956	—	52,956
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	10	12	△12	—
計	51,332	1,637	52,969	△12	52,956
セグメント利益	3,247	184	3,431	△31	3,400

(注)1 セグメント利益の調整額△31百万円の主なものは、提出会社の管理部門に係る減価償却費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年3月1日至平成30年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書計上額 (注)2
	ディスプレイ 事業	飲食・物販 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	51,204	1,037	52,242	—	52,242
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	14	18	△18	—
計	51,209	1,051	52,260	△18	52,242
セグメント利益	3,463	38	3,502	△32	3,470

(注)1 セグメント利益の調整額△32百万円の主なものは、提出会社の管理部門に係る減価償却費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

3. 補足情報

(1) セグメント別(ディスプレイ事業は市場分野別)の生産高、受注および売上高の状況

①生産高の状況

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
	生産高(百万円)	生産高(百万円)
(ディスプレイ事業)		
専門店市場	18,929	18,534
百貨店・量販店市場	2,699	2,818
複合商業施設市場	7,327	5,083
広報・販売促進市場	8,052	8,966
博物館・美術館市場	3,587	3,803
余暇施設市場	4,148	5,159
博覧会・イベント市場	230	325
その他市場	7,103	9,266
ディスプレイ事業 小計	52,079	53,958
(飲食・物販事業)	—	—
合計	52,079	53,958

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2 生産高の金額は販売価格によっております。
 3 飲食・物販事業は生産概念が異なるため、記載しておりません。

②期中受注高および受注残高の状況

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
(ディスプレイ事業)				
専門店市場	19,649	9,493	22,391	12,220
百貨店・量販店市場	3,349	1,744	2,570	1,382
複合商業施設市場	5,713	4,603	12,001	10,704
広報・販売促進市場	11,898	7,085	9,043	5,284
博物館・美術館市場	7,532	9,317	5,722	8,708
余暇施設市場	4,147	3,201	4,462	6,227
博覧会・イベント市場	410	375	478	243
その他市場	6,166	6,902	14,489	10,316
ディスプレイ事業 小計	58,868	42,723	71,158	55,085
(飲食・物販事業)	—	—	—	—
合計	58,868	42,723	71,158	55,085

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2 飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載しておりません。

③売上高の状況

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
	売上高(百万円)	売上高(百万円)
(ディスプレイ事業)		
専門店市場	19,876	16,002
百貨店・量販店市場	2,539	2,724
複合商業施設市場	7,563	4,779
広報・販売促進市場	7,717	8,493
博物館・美術館市場	3,943	4,189
余暇施設市場	4,071	5,050
博覧会・イベント市場	272	324
その他市場	5,344	9,640
ディスプレイ事業 小計	51,329	51,204
(飲食・物販事業)	1,627	1,037
合計	52,956	52,242

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2 売上高総額に対する割合が10%以上となる相手先はありません。

(2) セグメント別(ディスプレイ事業は制作品別)の生産高、受注および売上高の状況

①生産高の状況

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
	生産高(百万円)	生産高(百万円)
(ディスプレイ事業)		
内装制作	22,671	28,853
展示制作	12,031	13,375
環境演出制作	2,820	2,355
販促品制作	264	229
企画・設計・監理	3,602	4,813
その他	10,689	4,331
ディスプレイ事業 小計	52,079	53,958
(飲食・物販事業)	—	—
合計	52,079	53,958

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2 生産高の金額は販売価格によっております。
 3 飲食・物販事業は生産概念が異なるため、記載しておりません。

②期中受注高および受注残高の状況

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
(ディスプレイ事業)				
内装制作	22,226	15,331	40,479	28,117
展示制作	18,303	15,182	14,140	14,009
環境演出制作	2,735	1,242	3,483	2,251
販促品制作	181	79	312	175
企画・設計・監理	4,044	5,013	5,183	5,606
その他	11,377	5,873	7,558	4,924
ディスプレイ事業 小計	58,868	42,723	71,158	55,085
(飲食・物販事業)	—	—	—	—
合計	58,868	42,723	71,158	55,085

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2 飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載しておりません。

③売上高の状況

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
	売上高(百万円)	売上高(百万円)
(ディスプレイ事業)		
内装制作	23,450	25,966
展示制作	11,195	13,269
環境演出制作	2,885	2,197
販促品制作	309	234
企画・設計・監理	3,703	4,526
その他	9,785	5,010
ディスプレイ事業 小計	51,329	51,204
(飲食・物販事業)	1,627	1,037
合計	52,956	52,242

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2 売上高総額に対する割合が10%以上となる相手先はありません。